

2018年11月1日  
NHK広報局

## 11月会長定例記者会見要旨

Q. BS4K・BS8K開局特番について

A. (上田会長) 12月1日、BS4K・BS8Kの開局当日に2つのチャンネルの魅力を伝える生放送の特別番組をBS4K・BS8K、総合テレビで放送します。

特別番組は、BS4K・BS8Kが開局する午前10時に合わせて生放送を開始し、見どころや基礎知識、受信方法などをご紹介します。夜7時台にも特別番組を放送し、こちらは司会を井ノ原快彦さんがつとめます。世界初となる4Kによる南極からの生中継では、“地球最後の”絶景と、ペンギンなど生き物たちの姿をダイナミックにお届けします。また8Kではイタリアから生中継し、ローマの人気の観光スポットや、食や文化、歴史などをご紹介します。さらに今後BS4K・BS8Kで放送するコンテンツを一挙に紹介します。

このほか、11月30日から5日間、東京・渋谷の渋谷ストリームホールにてBS4K・BS8Kの魅力を体感できるイベントも行います。

テレビの新たな時代の幕開けとなるNHKのBS4K・BS8Kに、ぜひご期待ください。

(詳細は報道資料参照)

Q. 中国語での災害情報プッシュ通知サービス開始について

A. (会長) NHKは、国際放送「NHKワールド JAPAN」を通じ、日本の最新の情報や文化などについての情報を、海外向けに積極的に伝えています。その一環として、日本を訪れる外国人や日本に住む外国人に向けた情報発信にも取り組んでいます。今年2月からは、

「NHKワールド TV」アプリを通じて、地震や津波が発生した時などに、英語のプッシュ通知を受け取ることができるサービスを始めました。

そして今回、新たに中国語でも災害情報プッシュ通知サービスを始めました。中国語のプッシュ通知は、「NHKワールド TV」アプリで、主に中国本土で使われている簡体字、および香港や台湾などで使われている繁体字にてご提供します。受信できる通知は、気象庁が発表する震度3以上の地震情報、そして津波警報と津波注意報です。在京の外国公館との連携や中国語系メディアへの広報を通じて、中国語を話す方々への周知を進めてまいります。

NHKでは、公共放送として、視聴者のみなさまの安全で安心な暮らしに貢献すべく、さまざまな情報をテレビ・ラジオ・インターネットでお届けしています。国際放送でも、ことし9月、北海道で起きた地震の際には、停電でテレビやスマートフォンでの情報収集が難しくなる事態を想定し、ラジオ第2放送で、通常番組を休止し、英語によるテレビ国際放送の音声やラジオ国際放送の多言語によるニュース番組を放送しました。

今後も、日本を訪れる観光客や日本に住む外国人の方々の安全・安心に資するサービスに取り組んでいきたいと考えています。

(詳細は報道資料参照)

Q. 2018年度「NHK歳末たすけあい」

「NHK海外たすけあい」について

A. (会長) 今年度の「NHK歳末たすけあい」「NHK海外たすけあい」は、例年通り12月1日から25日にかけて実施します。

「NHK歳末たすけあい」は共同募金会を通じて福祉施設をはじめ支援を必要とする方々のために使われます。「NHK海外たすけあい」は日本赤十字社を通じて世界各地の紛争や災害、病気に苦しむ人たちのために使われます。

関連番組「あなたのやさしさを2018」では、「歳末・海外たすけあい」それぞれの目的や、どのように役立てられているか、国内・海外の事例を取材してご紹介します。また連続テレビ小説「まんぷく」主演の安藤サクラさんやラグビー日本代表キャプテン・リーチマイケルさんら各界で活躍する方々が、スポット番組を通じて「たすけあい」への協力を呼びかけます。

そして12月21日には、寄付への関心を高めてもらおうという特集番組「はじっこ革命」を放送します。番組では、遊び心をくすぐりながら、寄付をより身近に感じてもらえるアイデアを街中で実践し紹介していきます。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

(以上)